

**総合調査報告書『EBPM（証拠に基づく政策形成）の取組と課題』
（調査資料 2019-3）を刊行しました**

国立国会図書館ホームページから全文を読むことができます

国立国会図書館調査及び立法考査局は、重要な国政課題についてプロジェクトチームを編成し、政策分野横断的な調査・分析を行う「総合調査」を実施しています。令和元年は、「証拠に基づく政策形成」(EBPM)をテーマに調査を行い、この度、総合調査報告書『EBPM（証拠に基づく政策形成）の取組と課題』を刊行しました。

■ 報告書の内容

急速に進む少子高齢化など経済社会構造が変化する中、我が国は限られた資源を有効に活用することが従来にも増して求められています。そのため、政府は、政策形成プロセス全般を対象とし、関係する様々な証拠（エビデンス）を活用して政策を改善するEBPMの導入を図っています。EBPMは、政策の論理や証拠の「見える化」を促すため、国会の行政監視機能の強化にも役立つ可能性があります。

『EBPM（証拠に基づく政策形成）の取組と課題』は、「第Ⅰ部 EBPMの展開」、「第Ⅱ部 EBPMの観点からの個別事例分析」の2部で構成され、10編の論稿と用語集を収録しています。第Ⅰ部においては、EBPMの取組、経緯、外国事情を確認した上で、EBPMの観点から政策形成を考える視点を整理しました。第Ⅱ部においては、これらの視点をを用いて、個別分野の6つの政策について、EBPMの観点から現状と課題を検討するケーススタディを行いました。

■ 入手方法

国立国会図書館のホームページにPDFファイルで全文を掲載しています。

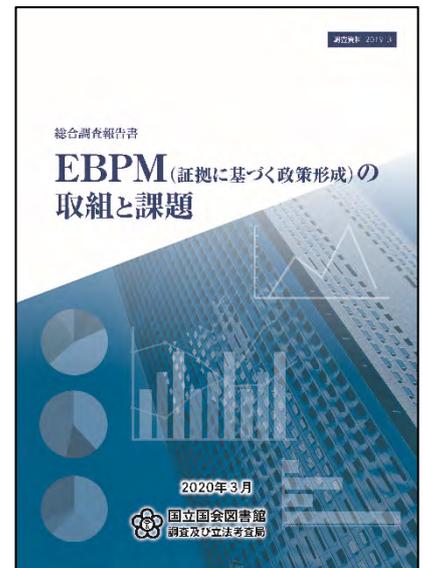
URL: <https://www.ndl.go.jp/jp/diet/publication/document/2020/index.html>

国立国会図書館トップ> 国会関連情報> 『調査資料』> 2020年刊行分

* 冊子版の報告書の入手を希望される報道関係者の方は、下記のお問合せ先まで御連絡ください。

■ お問合せ先

国立国会図書館 総務部総務課広報係 電話：03-3506-5103（直通）



(参考) 『EBPM (証拠に基づく政策形成) の取組と課題』 (調査資料 2019-3) 目次

総合調査の問題意識と各論稿の紹介

第 I 部 EBPM の展開

第 1 章 我が国における EBPM の取組

第 2 章 我が国における政策評価の展開

—政策評価・行政事業レビュー・EBPM—

第 3 章 海外における EBPM の先行事例

第 4 章 個別事例分析で抽出された課題

第 II 部 EBPM の観点からの個別事例分析

第 5 章 予防医療・医療費適正化と EBPM

—特定健康診査・特定保健指導を中心に—

第 6 章 国立大学法人運営費交付金と EBPM—評価に基づく配分について—

第 7 章 租税特別措置と EBPM—研究開発税制を中心に—

第 8 章 中小企業向け補助金と EBPM—ものづくり補助金を中心に—

第 9 章 キャッシュレス化推進と EBPM

第 10 章 鳥獣被害対策と EBPM

資料 (用語集)

(参考) 調査及び立法考査局の「立法調査サービス」

国会議員からの依頼に基づき、政治、経済、社会、文化、科学技術等、広範な分野の国政課題について、根拠となるデータの収集や事実関係の調査から、論点整理、分析・評価まで、多岐にわたる調査を行います。また、現在・将来の国政課題について調査した成果を報告書などにまとめ、国会議員に提供しているほか、国立国会図書館ホームページで公開しています。